

酪農学園大学主催シンポジウム

モンタナ州のベア・スペシャリストと考える

野生動物管理の担い手

～育成から社会実装まで～

2026年4月29日 **水** 15時～18時



会場 酪農学園大学
黒澤記念講堂

参加費無料・事前申込制

*右下のQRコードからお申し込みください。

開催趣旨

市街地出没や人身被害の増加など、クマ問題は大きな社会課題となっています。ヒグマの生態や行動を理解し、問題の背景にある個体数の動向や人間社会の変化を踏まえた上で、問題解決に必要な知識や技術を持ち、地域に寄り添う野生動物管理の担い手の存在が不可欠です。

このシンポジウムでは、米国モンタナ州のベア・スペシャリストをお招きし、その仕事の内容や社会の中での位置付け、それに求められる技能と教育についてご紹介いただきます。さらに、パネルディスカッションでは北海道における管理の担い手育成と社会実装に向けた課題について、参加者の皆様からご質問をお受けしながら議論します。

酪農学園大学環境共生学類野生動物学領域の教育目標の一つは、野生動物管理の担い手の育成です。しかし意欲を持つ人材がいても安定した職は少なく、雇用に必要な安定財源も、その必要性も十分に理解されていないのが現状です。国による法律や制度の違いはもちろんありますが、北海道への実装を想定して議論を進めることで、その職業像や将来に向けたビジョンを共有しましょう。

プログラム

基調講演「モンタナ州におけるベア・スペシャリストの仕事とは」

逐次通訳つき ジャスティーン・ヴァリエール氏 モンタナ州魚類野生生物公園局ベア・スペシャリスト

パネルディスカッション

登壇者

ヴァリエール氏、学生代表、佐藤喜和、伊吾田宏正、伊藤哲治
立木靖之(モデレーター) 酪農学園大学環境共生学類



軋轢管理のため
生体捕獲された
クマ

ジャスティーン・ヴァリエール氏
モンタナ州に8人いるベア・スペシャリストの1人。大学で野生動物管理を学び、スペシャリストを補助するテクニシャンを経て現職。

お申込はこちら ▶

